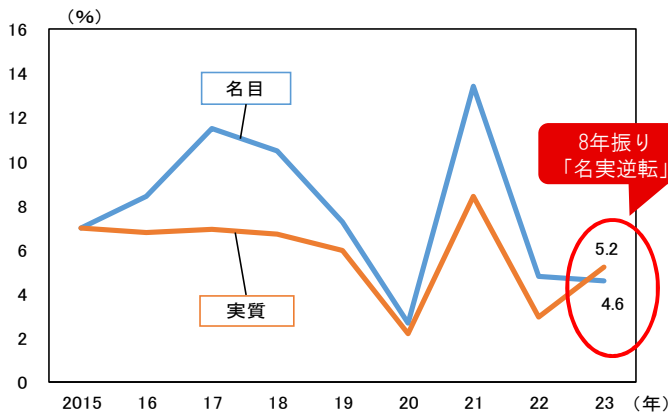


デフレ懸念が高まる中国経済

2023年は「名実逆転」の経済成長

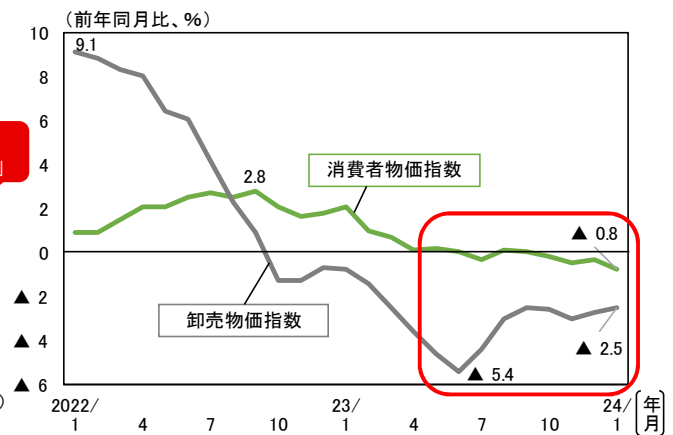
2023年の中国の実質GDP成長率は+5.2%と、政府目標の「+5%前後」を達成した一方で、8年振りに名目値(+4.6%)が実質値を下回る「名実逆転」となりました(図表1)。因みに、2024年1月の卸売物価指数は前年同月比▲2.5%で16ヵ月連続、消費者物価指数は同▲0.8%で4ヵ月連続のマイナスで推移しており、デフレ懸念が高まっています(図表2)。

図表1 中国のGDP成長率の推移



(資料)中国国家统计局資料より当部作成

図表2 中国の卸売・消費者物価指数の推移



(資料)中国国家统计局資料より当部作成

注目される経済回復の行方

中国経済は、海外経済の減速等に伴う外需の低迷や個人消費の伸び悩み、さらにはGDPの3割を占めるとも言われる不動産開発投資の落ち込み等から、「需要不足」に陥っているとされています。

実際、企業の景況感を示すPMI(購買担当者景気指数)は、「生産」が好不調の目安となる「50」を上回る一方で、「新規受注」や「新規輸出受注」は、製造業・非製造業とも「50」を下回って推移しています(図表3)。

IMFによれば、2024年の中国の実質GDP成長率は+4.6%と、2023年をさらに下回ると予測されています。人口減の中で、中長期的な成長力に陰りが出ているとの見方もあり、今後の経済回復の行方が注目されます。

図表3 中国のPMIの推移

	2023年				2024年
	9月	10月	11月	12月	1月
製造業PMI	50.2	49.5	49.4	49.0	49.2
生産	52.7	50.9	50.7	50.2	51.3
新規受注	50.5	49.5	49.4	48.7	49.0
新規輸出受注	47.8	46.8	46.3	45.8	47.2
非製造業PMI	51.7	50.6	50.2	50.4	50.7
新規受注	47.8	46.7	47.2	47.5	47.6
新規輸出受注	49.4	49.1	46.8	50.9	45.2

(注)PMI:「企業の景況感」を示す指標。
「50」超で拡大傾向、「50」未満で縮小傾向を表す
(資料)中国国家统计局資料より当部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：唐井 (TEL080-9951-8636) までお願いします。